

クオリティ・オブ・ライフが、セカンドキャリアのためのセミナー講師を育成

一期生がシニアの知見を活かしたセミナー講師として活動を開始

株式会社クオリティ・オブ・ライフ（本社：東京都千代田区、代表取締役：原 正紀、以下 QOL）は、企業と登録者約 4,000 人のシニア人材のマッチングによって、企業が抱える様々な経営課題を解決する「生涯プロフェッショナル事業」の一環として、『生涯プロフェッショナル流～セミナー講師養成講座』を 9 月より開講し、このたび同講座を受講した一期生が、セミナー講師として活動を開始いたしました。

官公庁・自治体などの公共機関、大学等の教育機関や民間企業など、幅広い需要があるのがセミナー講師です。QOL は本講座を通じて、シニアにとってこれまでの経歴・専門分野・資格等が活かし、退職後のセカンドキャリアとして“講師”となるための実践的な支援を行っています。

シニア向けに、講師の考え方と客観的なワークを通じて学べる機会を提供

本講座ではセミナー講師としての考え方、セミナーでの話し方等、講師に必要とされる基礎スキルを体系的に学ぶ座学だけでなく、個人ワーク・グループワークを通じて体感をしながら学習します。例えば、これまでの職歴・経験を踏まえ、自分が得意とするセミナーテーマを考え、企画するワークを行います。プレゼンワークでは話している姿をビデオ撮影し、自分の話す姿を動画で確認し、今後活かすことができるようチェックシートで改善点を見つけていきます。

また、本講座を受講後、希望者には QOL の講師データベースへの登録を行い、QOL が登録者の適正を判断して、講師案件を紹介し、シニアの多様な働き方を支援していきます。

【一期生がセミナー講師として活動開始】

本講座はすでに 2 回開催され、一期生が 2017 年 10 月末から随時セミナー講師として活動を開始しています。シニアのこれまでの専門分野を活かし、学生向け業界理解促進講座の講師や、入社後の社員向けビジネス基礎研修の講師など行っています。



【セミナー講師プロフィール】

(株)クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役 原正紀

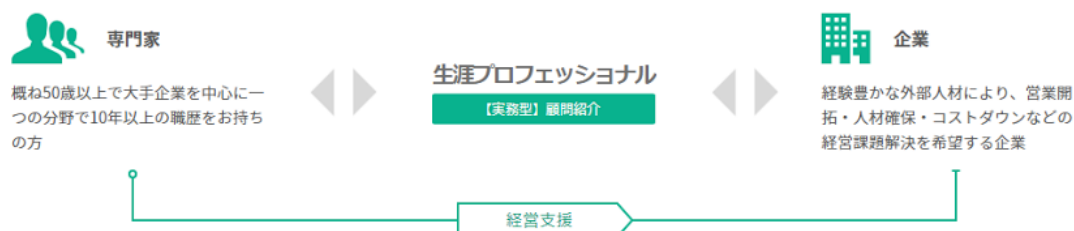


高知大学客員教授（キャリア論）、成城大学非常勤講師、厚生労働省・中小企業庁「中小企業・小規模事業者の働き方改革・人手不足対応に関する検討会」委員、中小企業庁「人手不足対応研究会」委員、東京商工会議所「多様な人材活躍委員会」委員。早稲田大学卒業後、リクルートを経て2006年に(株)クオリティ・オブ・ライフを創業。中小企業診断士の資格を持ち、社長業の傍ら人材に関する講演を全国各地で年間50回以上行う。著書は『人生二毛作社会を創る』『インタビューの教科書』など10冊以上。月刊『企業診断』の連載「シリーズ 挑戦する経営者」は掲載14年を超える。

【経営課題の解決にシニア専門家の知識を活かす、『生涯プロフェッショナル』事業について】

労働力の減少や少子化の問題を抱える日本では、構造的な労働者不足が懸念され、企業の成長に欠かせない人材の確保がますます困難となっています。一方、ミドル・シニア層はその人口比率が高まり、生涯を生き活きと働き続けることで、社会のコストにならず利益を生み出す側にいるための努力や取り組みが重要となっています。

そうした背景の中、QOLは2016年7月に企業の様々な経営課題を解決するため、主に50歳以上のセカンドキャリアを志向する大企業のOB・OG専門家を活用した顧問・アドバイザー紹介サービスとして、『生涯プロフェッショナル』事業を開始し、現在では約4,000名が専門家として登録をしています。



■『生涯プロフェッショナル』のサービスの詳細はこちらより：<https://2nd-pro.com/>

【株式会社クオリティ・オブ・ライフについて】

クオリティ・オブ・ライフは、2006 年の設立以来、「QOL＝個人の人生の充実」という視点から、人と組織の活性化をサポートしてきました。経済産業省や中小企業庁、東京都・大阪府・群馬県等の国や自治体の「企業と人材を結ぶ公共事業」に数多く携わり、主に学生、既卒者、社会人向けに独自のキャリア教育から就職支援、社内教育まで広く事業を展開。さらに 2014 年の全国中小企業団体中央会「地域中小企業のシニア人材確保・定着支援事業」受託を機に、大手企業出身者の知見を活かした企業の経営課題解決支援に取り組んでいます。

■クオリティ・オブ・ライフのホームページ：<http://www.qol-inc.com/>

【本リリースおよび『生涯プロフェッショナル』に関するお問合せ】

株式会社クオリティ・オブ・ライフ 担当：原、山田

■TEL：03-3526-6751 ■メール：info@2nd-pro.com